

サンフロンティア不動産

Sun Frontier Fudousan Co., Ltd. Business Report

第20期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日

証券コード:8934



SUN FRONTIER

第20期の総括

8期連続増収・経常増益を達成

株主の皆様におかれましては、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

当社は、皆様のご支援を賜り、おかげさまで創立20周年を迎えることができました。深く御礼申し上げます。

2019年3月期の連結業績は、売上高53,291百万円(前期比12.3%増)、営業利益13,305百万円(同18.4%増)、経常利益12,813百万円(同19.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益8,783百万円(同18.4%増)となりました。おかげさまで8期連続で増収・増益を達成、営業利益・経常利益は3期連続で過去最高益を更新、純利益も過去最高を記録いたしました。これもひとえに株主の皆様の温かいご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

配当につきましては、20周年記念配当2円を含む、前期比1株当たり5円増額の38.5円で7期連続の増配となりました。

高い利益率のコアビジネスが業績を牽引

不動産市場が変化の兆しを見せる中、当社の本業である不動産再生事業において、社内の各部門が専門性を持ち寄り、お客様にとっての付加価値の源泉を見つけ出し創意工夫を重ね、ビルの魅力を最大化する当社独自のモデルが更に深化し、高い利益水準を継続。会社全体の業績を牽引し、経常利益率24.0%と6期連続で20%超の高い水準を継続いたしました。

オペレーション事業が順調に成長

中期経営計画において示した「フローとストックの両足で立つ」収益構造を実現させるべく、ホテル運営事業と貸会議室事業を着実に伸ばしております。自社運営ホテルは2018年度が2ホテル、2019年度は5ホテルと、続々開業する予定。貸会議室事業は本年4月に分社化を実施、2023年3月末に向けて45拠点に拡大させていく予定です。中期経営計画を一過性で達成するのではなく、安定した達成を実現すべく、確実に歩んでまいります。更に、その先の成長を着実に目指せる事業基盤を構築してまいります。(貸会議室事業の分社化の詳細はP.8をご覧ください)

株主優待制度を拡充

2017年に導入した株主優待制度が大変ご好評をいただいておりますことから、内容を拡充いたしました。今年度^{ひまり}に開業予定の、旗艦ホテルブランド「日和」を冠する2ホテルでも利用可能としております。今後も株主の皆様の満足度と当社株式への投資魅力を高めてまいります。(株主優待制度の詳細はP.11~12をご覧ください)

今後とも倍旧のご支援を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

2019年6月
サンフロンティア不動産株式会社

代表取締役社長 **堀口智顕**

連結業績ハイライト

(2018年4月1日～2019年3月31日)

売上高

532 億円

前期比 12.3%増

営業利益

133 億円

前期比 18.4%増

経常利益

128 億円

前期比 19.1%増

親会社株主に帰属する当期純利益

87 億円

前期比 18.4%増

重視する経営指標

経常利益率

24.0%

自己資本比率

50.3%

目次

株主の皆様へ	1
中期経営計画の進捗	3
ビジョン・方針と経営の軸	5
事業別トピックス	
オフィスビル事業	6
果敢に挑戦し 事業を伸ばした一年	9
■ 特集[株主優待] 当社運営ホテルのご紹介	11
業績情報	
事業別概要	13
財務ハイライト	14
会社情報	裏表紙

中期経営計画の進捗

進捗の総括

昨年策定いたしました中期経営五ヵ年計画の初年度である当期でしたが、翌期への布石を確りと打ち、想定を上回ってスタートさせていただきました。

中期経営計画2年目となる2020年3月期の連結業績予想は、**売上高700億円**（前期実績比31.4%増）、**営業利益145億円**（同9.0%増）、**経常利益140億円**（同9.3%増）、**親会社株主に帰属する当期純利益95億円**（同8.2%増）とさせていただいております。

中期計画で掲げている方針と戦略に沿い、一過性の達成ではなく、収益性と安全性、成長性を備えた上での着実な達成を目指してまいります。

方針と戦略

基本方針：都心特化ビジネスと成長市場への展開

3つの戦略

- ① 当社の強みであり、中核事業である「**都心オフィスビル事業**」の**深化・伸長**
- ② 成長市場の「**ホテルとアジア**」に**フォーカス**し、積極果敢に展開
- ③ 「**M&A**」を**積極活用**し、既存事業の拡大と周辺サービスの成長加速を図る

中長期的に安定した成長を遂げるため、不動産の価値創造とマネジメントを強化

「フローとストックの両足で立つ」

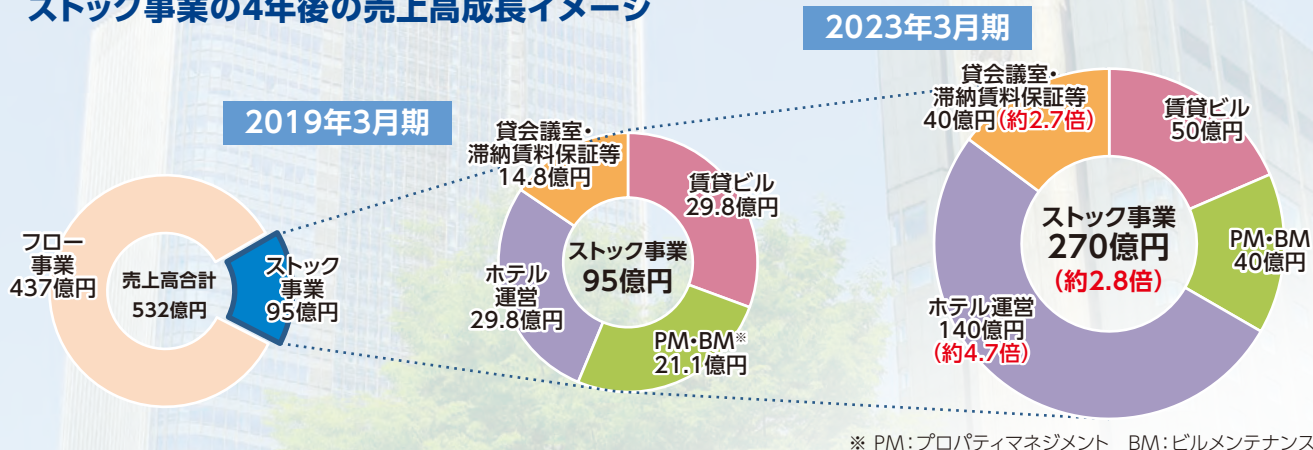
収益構造へ

中期経営計画 定量目標

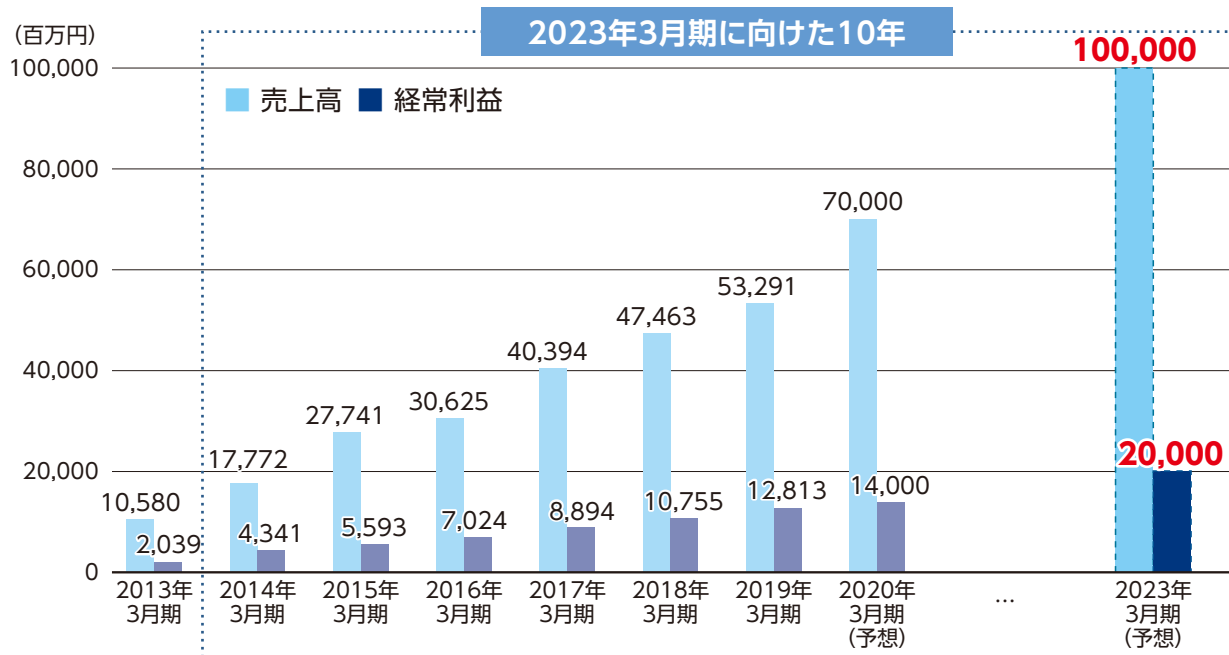
	2019年3月期 (当期実績)	2020年3月期 (今期予想)	2023年3月期 (4年後目標)
売上高	532億円	700億円	1,000億円
経常利益	128億円	140億円	200億円
当期純利益※	87億円	95億円	140億円
自己資本比率	50.3%	50%以上	50%以上
売上高経常利益率	24.0%	20%以上	20%以上

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

ストック事業の4年後の売上高成長イメージ



直近7カ年の推移と2023年3月期目標



サンフロンティア不動産グループのビジョン・方針

ビジョン

「不動産活用のプロフェッショナル」として“世界一お客様に愛され、選んでいただける不動産会社”を目指します

お客様

ビルオーナー様、資産家、富裕層

本業

不動産再生と活用

方針

- ・利を求むるに非ず、信任を求むるにあり、お客様視点を貫き、お困りごとを解決する
- ・物件でなく人にフォーカス
- ・ワンストップで課題解決

戦略

都心

オフィス

強み

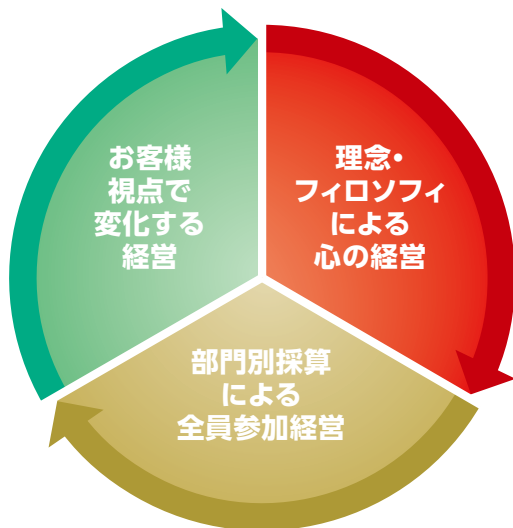
テナント
斡旋力

不動産
再生力

オペレー
ション力

ものづくり
力

サンフロ経営3つの軸



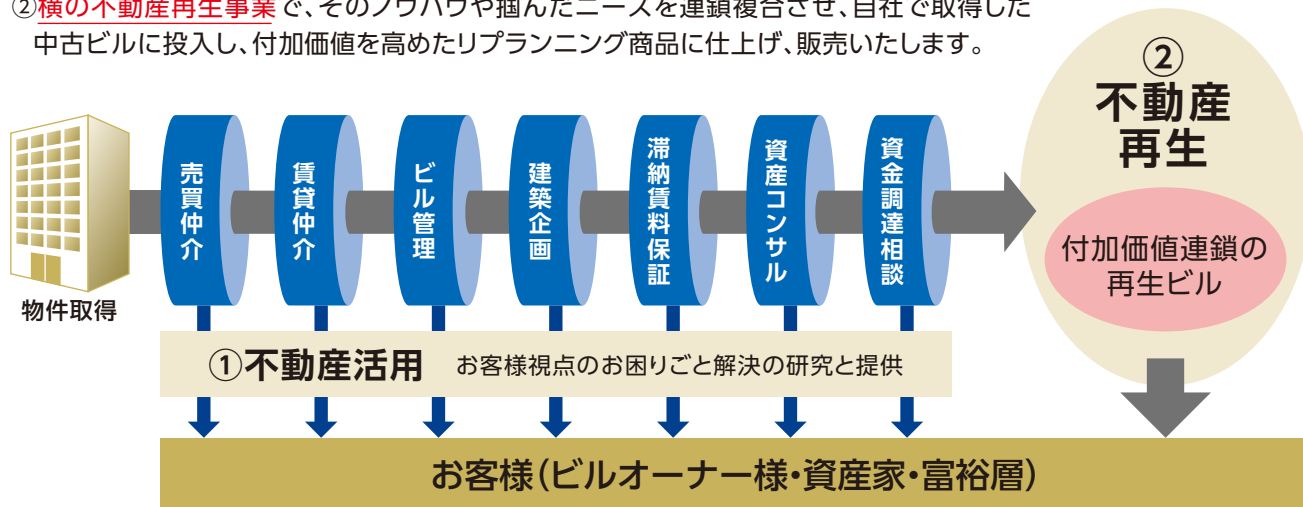
当社は創業以来「利他」を社是としています。まず一番身近な仲間のために働き、お客様には仲間の力を結集して10倍の貢献を目指します。お客様に複合的で大きな幸せを提供することで、豊かな社会の実現に貢献します。

小集団部門別採算制度（アメーバ経営）を構築し、浸透させることにより、社員の採算意識を高め、一人ひとりが経営者意識をもって取り組む**全員参加経営**を推進しています。

お客様視点で全てを考え、自らが絶えず変化し、挑戦・創造・前進。「他を利することがビジネス」という理念のもと、各部門の連携を土台に、**連鎖複合型**で高い付加価値を創出します。

オフィスビル事業のビジネスモデル

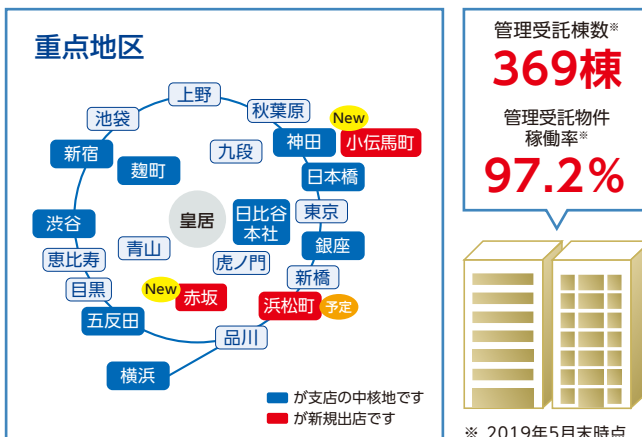
- ①**縦の不動産活用事業**で、お客様の声からお困りごとを現場で研究・解決し、
- ②**横の不動産再生事業**で、そのノウハウや掘んだニーズを連鎖複合させ、自社で取得した中古ビルに投入し、付加価値を高めたリブランニング商品に仕上げ、販売いたします。



オフィスビル事業
高付加価値の源泉

都心に特化、専門力を磨き続けワンストップで課題解決、各部門が付加価値を連鎖
お客様視点で生み出す高い付加価値が高収益性の源泉

オフィスビル事業では**都心5区を中心に12の拠点網**を展開。テナントを斡旋する賃貸部門の93名が地域に密着し、お客様に親切・丁寧に寄り添うことで、ビルの収益性を安定的かつ早期に高める力を発揮しています。またビル管理部門は112名の人員を擁し、都心を中心に369棟のビルを管理しています。管理を通して培った高い入居率維持と収益性の最大化を実現させる力を発揮しています。また、建築部門22名、売買やコンサルで25名の専門部門があり、従業員が一体となって目指す価値観を共有し、相互信頼とチームワークで力を結集させ付加価値を連鎖させています。ワンストップで課題を解決し、不動産再生事業における付加価値創造力・スピード再生力の源泉となっています。

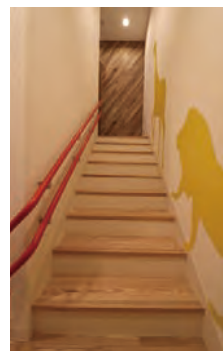
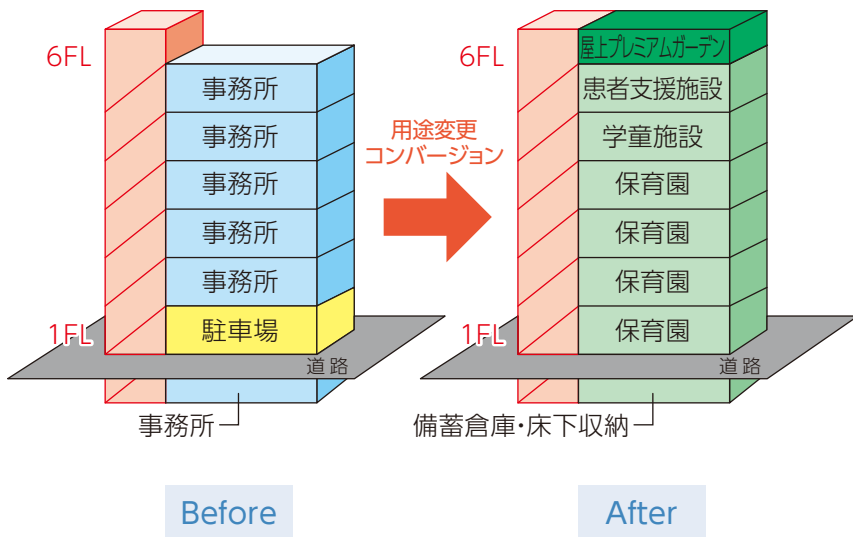


※ 2019年5月末時点

不動産
再生事例

オールステージの人生を支援する不動産再生 -八丁堀一棟収益ビル-

保育園の運営会社様へ一棟貸し。B1～4階まで**保育園**、5階は小学生対象の**学童施設**、6階は**ガン患者支援施設**として運営。**オールステージの人生を支援する**企業とのコラボレーション事業。地域に必要なとされるビルへと再生。



有効利用されていなかった1階の駐車場を再生すべく、防災備蓄倉庫や床下収納を設置することで容積率を確保。1階を保育園として再生させました。

ニュース

連結子会社「サンフロンティアスペースマネジメント株式会社」を設立

目的は、「都心部の企業活動を支えるインフラとして、日本経済の発展に貢献」すること
そのために一層の事業拡大を目指し、貸会議室事業を分社化

今般、意思決定の迅速化及び機動力を高め、より一層の事業拡大を目指すことを目的として、当社の貸会議室事業を会社分割し、子会社化いたしました。

当社の貸会議室事業は2016年にスタートし、現在、**貸会議室(ビジョンセンター)** 9拠点、**レンタルオフィス(ビジョンオフィス)** 3拠点、**コワーキングスペース(ビジョンワークス)** 1拠点、計13拠点を展開しています。また、2023年3月期末時点では拠点数を45拠点への拡大を計画しています。

本事業はストック型ビジネスとして、長期的かつ安定的なグループ全体の事業基盤構築に寄与しております。“都心不動産の「空間」と「時間」の価値最大化に取り組むことにより、地域社会の発展に貢献する”というビジョンのもと、ご利用者の皆様に「また利用したい」と思ってもらえるような付加価値を創出し、様々なスペース需要やイベント等にご活用いただけるよう、細部まで真心のこもった貸会議室事業を目指してまいります。



▲ビジョンセンター 室内



▲ビジョンオフィス 室内

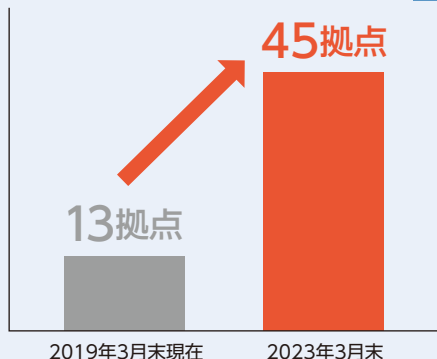


▲ビジョンワークス 室内

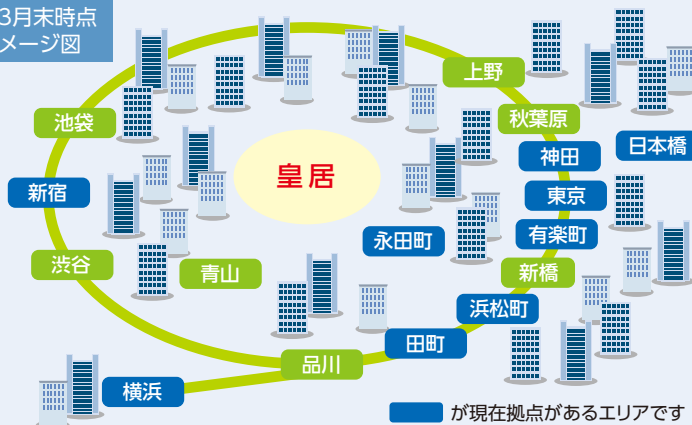
会社概要

会社名：サンフロンティアスペースマネジメント株式会社	資本金：50百万円
本店所在地：東京都港区浜松町二丁目8番14号	設立年月日：2019年4月1日
代表者：代表取締役社長 中村 泉	株主：サンフロンティア不動産株式会社100%

拠点拡大のイメージ図



2023年3月末時点
拠点イメージ図



たびのホテル飛騨高山オープン



アクティブに旅を楽しむ人向けのホテルブランド「たびのホテル」第1号店としてオープン。観光やビジネスなど旅の拠点として気軽にご利用いただけるホテルです。

「木のぬくもりに包まれた心温かいホテル」をコンセプトとし、高山の特徴を大切に地域とともに成長するホテル、お客様の声によって成長するホテルを目指し、ご宿泊者様にきめ細やかな心遣いとパーソナルなプラスαのサービスを感じていただけるホテルとなっています。

2018年5月

ベトナム ダナン Hiyori Garden Tower 発売

本プロジェクトはダナンで初となる日系企業独資の分譲マンション開発として2017年に着工し、モデルルームをオープン。建設現場やモデルルームの高い品質にご期待いただき募集開始即日で申込完売。そして今般、全てのお客様との売買契約を締結いたしました。

ダナンの方々に向け日本仕様の高い品質の住宅を供給し、現地の高まる住宅需要に応えるとともに、ダナンの人々の豊かな生活創造へ貢献してまいります。



2018年7月

2018年8月

2019年1月

たびのホテル佐渡オープン



「たびのホテル」第2号店として、市街を一望できる佐渡中心部にオープン。佐渡の伝統工芸である竹をイメージしデザインされた外観と、和の装飾を散りばめた館内が特徴となっています。宿泊された方が「ずっとここに住みたい」と言っていただけの居心地の良さと従業員の心温かいサービスを本に「アットホームな心温かいホテル」を目指し、地域創生事業の中心として佐渡観光の発展への貢献を目指しております。

赤坂店開設 小伝馬町店開設



当社は都心中小型オフィスビルに特化し、ビルオーナー様の不動産経営のパートナーとして様々なお困りごと解決に取り組んでおります。賃貸仲介事業は地域に密着し、お客様の身近な相談窓口として機能しており、今回その強みをさらに強化するため、港区赤坂と中央区日本橋小伝馬町へ新規出店いたしました。地域に根ざした土地勘を強みにお客様へ役立ち、地域に愛され、共に繁栄していくお店を目指しております。

日本ガラスクリーニング選手権優勝



第18回日本ガラスクリーニング選手権大会において、SFビルメンテナンスの菅原英樹社員が優勝し日本一となり、「日本一のガラス清掃技術者」を擁するビルメンテナンス会社となりました。今後もこの日本一の技術力をさらに向上させ、後進の育成、指導に努めるとともに、高い技術力と当社グループの総合力で、お預かりしているお客様の大切な資産を守り続けてまいります。

2018年10月

2018年11月

不動産再生ビル、港区「景観街づくり賞奨励賞」受賞



当社の不動産再生事業で再生した【THE HARBOUR SHIBAURA】が港区景観表彰において「景観街づくり賞奨励賞」を受賞しました。再生は産官学で連携。1階駐車場をレストランへ用途変更、敷地内には運河沿いの立地を活かして自由通路を設置、運河側遊歩道と接続し、地域の賑わい拠点として魅力的な水辺と運河景観を実現いたしました。大規模開発ではなく築40年のビルを再生し、地域活性化の足がかりになったとご評価いただきました。

日和 日和オーシャンリゾート沖縄着工



日和オーシャンリゾート沖縄は、当社グループ初となる分譲コンドミニウムホテルです。美しい海を正面に望むテラスを設計し、家具やキッチン、冷蔵庫や洗濯機など長期滞在にも適した家電を備え、露天風呂や室内外プール、オーナー様専用ラウンジも完備しています。

ご自身やご家族の別荘として、また利用しない期間にはホテルの客室として提供することで賃料収入を得られる、不動産所有と投資を両立させた商品となっています。

2019年4月

貸会議室事業で新規4拠点開業・分社化を実施



貸会議室事業の拠点網は2016年の事業開始以来、順調に拡大し、2019年3月末時点で13拠点となっております。昨年度は拠点を続々と開業させ、さらに今期はより一層の事業拡大を目指し分社化しました。オフィスビル事業で培ってきた土地勘と支店網が活かせる東京都心部に集中展開し、ご利用者様からのご要望にスピード感と柔軟さのある気の利いた対応をモットーにお客様の利便性をトコトン追求しています。

1

ひより

日和ホテル大阪なんば駅前

宿泊優待券

宿泊補助券

ご予約電話番号 | 06-6643-5280

当ホテルは、SAKURA棟(10階建124室)とMOMIJI棟(9階建100室)の2棟からなるツインタワーホテルです。4月27日(土)MOMIJI棟をプレオープンし、SAKURA棟の完成とともに、5月30日(木)にグランドオープンいたしました。

5月30日 グランドオープン

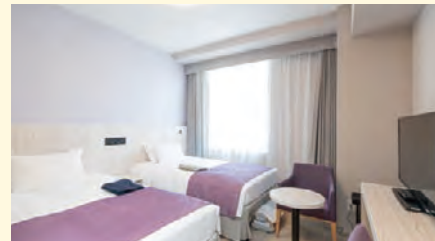


▲SAKURA棟外観



▲MOMIJI棟外観

それぞれのタワーには有名シェフが腕を振るうイタリアンレストラン、焼き立てパンのカフェを完備しており、とっておきの時間をお楽しみいただけます。ダブルルーム・ツインルームを中心とする全224室の客室は、日本らしさを感じる豊風の床材を採用し、靴を脱いでお寛ぎいただける室内と深い眠りへ導いてくれるシモンズ製のベッド等、お客様の快適性を追求し上質なホテル空間をご提供させていただきます。



▲ツインルーム



「日和ホテル大阪なんば駅前」は、自社ホテルブランド「日和ホテルズ&リゾーツ」の旗艦ブランドである「日和」シリーズの第2号店として、大阪難波に誕生しました。当ホテルは南海線「なんば」駅より徒歩2分、近鉄線「大阪難波」駅・大阪メトロ地下鉄各線「なんば」駅より徒歩5分の好立地に所在します。

所在地：大阪府大阪市浪速区難波中3-1-2 (SAKURA棟)
大阪府大阪市浪速区難波中3-2-1 (MOMIJI棟)

交通：南海線「なんば」駅 徒歩2分

地下鉄御堂筋線・千日前線・四つ橋線「なんば」駅 徒歩5分

近鉄線「大阪難波」駅 徒歩5分、

JR「難波」駅 徒歩9分

客室数：224室

2

日和ホテル舞浜

ご予約電話番号 | **047-390-7300**

宿泊優待券

宿泊補助券

所在地：千葉県浦安市東野2-25-8
 交通：首都高速湾岸線「浦安」下り出口より直進1分
 JR京葉線・武蔵野線「舞浜駅」から**無料送迎バス**で5分
 客室数：80室



▲舞浜テーマパークにアクセスの良い立地



▲「OZmallアワード2019」のカジュアルホテル部門におけるロコミ年間ランキングにおいて全国第1位を獲りました。



<各種サービス>

選べる+αのアメニティサービス
 (左写真:HIYORI HAPPY プレゼント)、無料のお夜食(カップラーメンバー)、30種類以上の朝食バイキング、シモンズ製ベッド、空気清浄器、ヘアドライヤー&ヘアアイロン、フットマッサージャー、靴乾燥機、他

3

コートヤード・バイ・マリオット大阪本町

宿泊補助券

ご予約電話番号 | ※予約専用ダイヤルは8月以降運用開始予定。
 当社HPにて後日リリースいたします。

所在地：大阪府大阪市中央区南本町2-3-7
 交通：地下鉄御堂筋線「本町」駅から 徒歩5分、
 地下鉄中央線・堺筋線「堺筋本町」駅から 徒歩1分
 客室数：193室

**2019年10月
 オープン予定**



▲外観イメージ



▲ゲストルーム

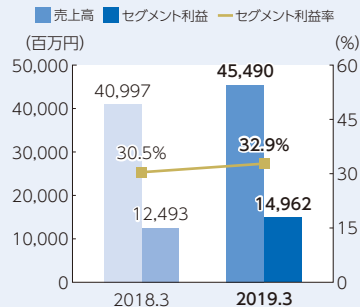
世界最大級のホテル数を誇る「マリオット・インターナショナル」との協業ホテル「コートヤード・バイ・マリオット大阪本町」を本年10月にオープンいたします。
 2020年の東京五輪や2025年の大阪万博など国際的な大イベントが控えており、訪日観光客のより一層の増加が見込まれております。

株主優待について

保有株式数	ご優待内容	対象ホテル (赤字は追加対象ホテル)	ご利用方法
100株以上	「宿泊ご優待券」 1室1泊(2名様まで)朝食付で12,000円 (追加1名様ごと+3,000円)	日和ホテル舞浜 日和ホテル大阪なんば駅前 日和ホテル銀座東	適用除外日(土曜・祝前日他)がありますので、お電話にてホテルへ直接ご予約ください。(連泊の場合、2泊目以降は通常料金となります。)
500株以上	上記ご優待券に加え、 5,000円分の「宿泊補助券」 (上記ご優待券との併用可)	日和ホテル舞浜 日和ホテル大阪なんば駅前 日和ホテル銀座東 たびのホテル飛騨高山	ご予約時に、宿泊補助券をご利用になる旨をお伝えいただき、料金精算時に宿泊補助券をご提出ください。宿泊料金より、補助券相当額を差し引かせていただきます。(適用除外日はございません。)

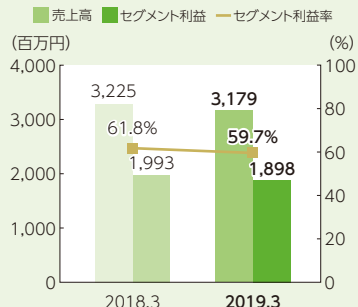
※ 優待内容の詳細については「宿泊ご優待券」「宿泊補助券」をご参照ください。

不動産再生事業



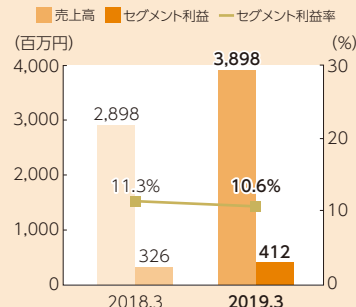
リブランニング事業が高いセグメント利益を継続、32.1%と過去最高を記録した。お客様視点で付加価値の源泉を見つけ出し創意工夫を重ね、また社内各部門の専門サービスを結集させて不動産の価値最大化に取り組む当社独自のワンストップ事業が深化した。賃貸ビル事業は在庫からの賃料収入が増加。今後は新築ビル事業にも取り組み、長期的・安定的に収益の増大を図る。

不動産サービス事業



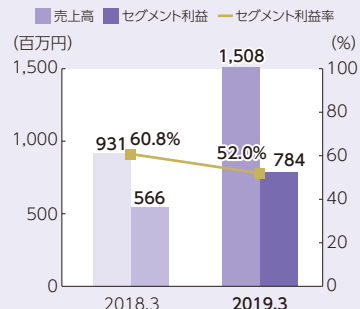
ビルオーナー様に親切・丁寧に寄り添い、地域密着の身近な専門サービスで小さなお困りごとと解決を繰り返すことで、不動産経営のパートナーとして信任いただく。そこで培ったお客様基盤が他の部門の事業機会も創出しグループ全体の業績に寄与。またワンストップの課題解決により不動産再生事業と連鎖複合し、不動産の価値創造に大きく貢献。

オペレーション事業



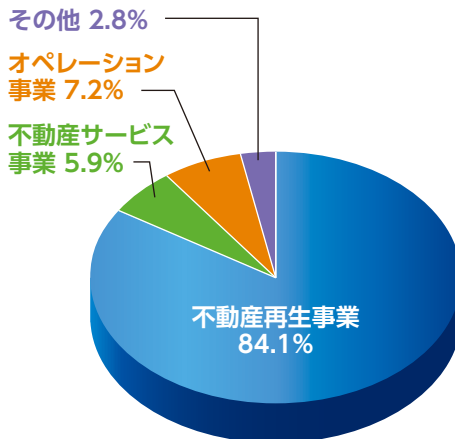
ホテル運営事業は客室単価と稼働率向上により売上高・利益が大きく伸長。さらに今期中に計5ホテルを新規開業させ、運営ホテル数と稼働客室を着実に伸ばす。貸会議室事業は4月に分社化を実施。都心部の企業活動を支えるインフラとしてさらなる事業拡大を目指す。今期は人材も増強し、新規施設の開設を一段と加速させる予定。

その他



滞納賃料保証事業は売上高・利益ともに増加。民法改正に伴う機関保証への需要増加を見込み、セミナーを強化。さらなる業績伸長を目指す。建設ソリューション事業はM&Aにより連結子会社化した「光和工業」の売上高・利益が加わった。海外事業は9月にベトナム・ダナンで進む分譲マンション竣工に伴い、売上を計上予定。

セグメント別売上高構成比

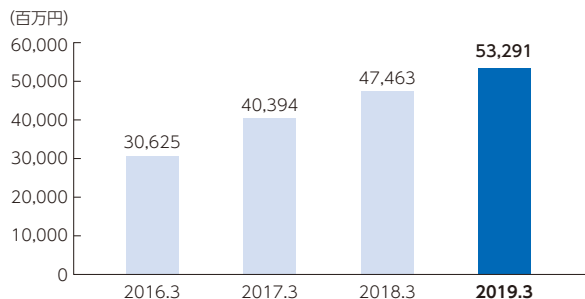


主要な事業セグメント・区分

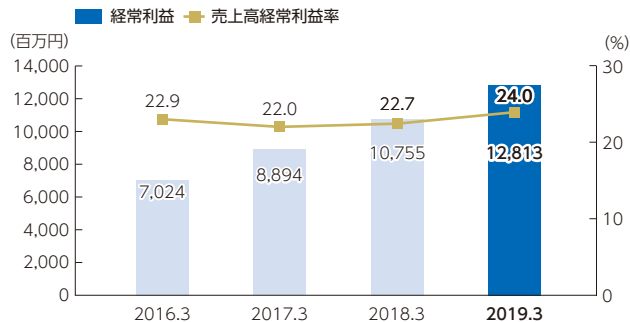
不動産再生事業	リブランニング事業
	ホテル開発事業
	賃貸ビル事業
不動産サービス事業	プロパティマネジメント事業
	ビルメンテナンス事業
	売買仲介事業
	賃貸仲介事業
オペレーション事業	ホテル運営事業
	貸会議室事業
その他	海外事業
	滞納賃料保証事業
	建設ソリューション事業

事業別業績に記載している「セグメント利益」は、売上総利益から支払利息、販売手数料、のれん償却等各事業で発生する固有の費用を差し引いて算出しています。

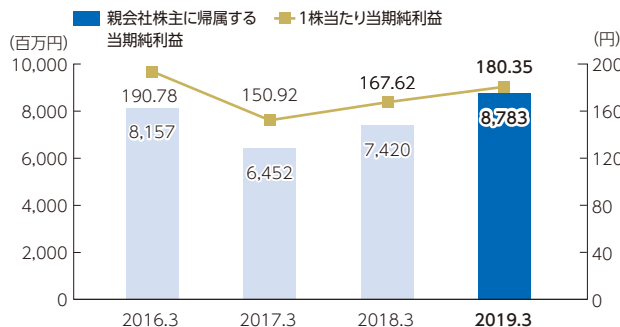
■ 売上高



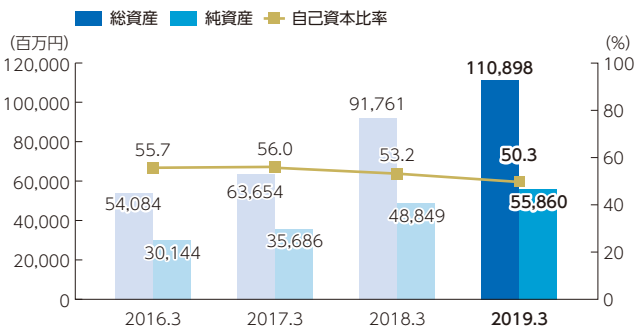
■ 経常利益・売上高経常利益率



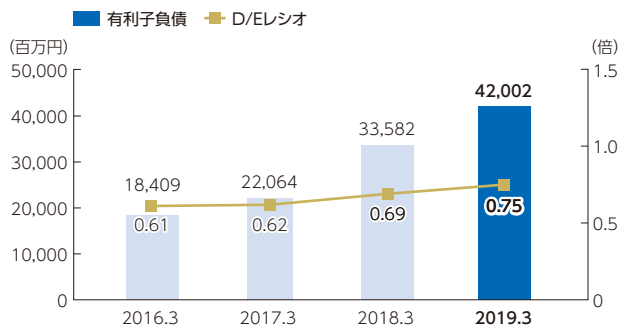
■ 親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益



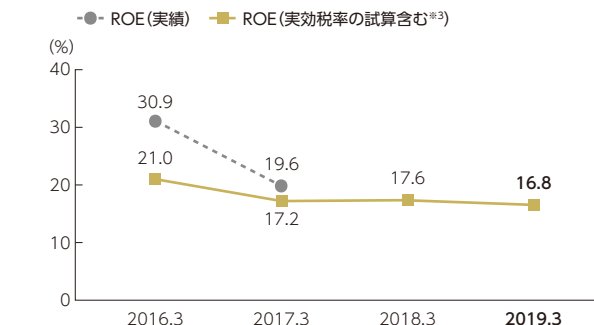
■ 総資産・純資産・自己資本比率



■ 有利子負債・D/Eレシオ^{※1}



■ 自己資本利益率 (ROE^{※2})



※1 D/Eレシオは有利子負債/自己資本で計算され、財務の健全性を表す指標です。 ※2 ROEは当期純利益/自己資本(期首期末平均)×100で計算され、資本の効率性を表す指標です。

※3 2016.3期～2017.3期は、税務上の繰越欠損金による税金の負担軽減の影響を除いて、各事業年度の実効税率(2017.3期は30.86%)が課税されたと仮定した試算であり、2017.3期末において繰越欠損金が全額解消されたため、2018.3期～2019.3期は実績で示しております。

財務情報の詳細はホームページをご覧ください

サンフロンティア

検索

会社情報

(2019年3月31日現在)

株式情報

発行可能株式総数 91,200,000株
発行済株式数 48,755,500株
株主数 9,876名

■大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%) ^{※1}
株式会社報恩	17,957,500	36.83
堀口 智顕	3,009,100	6.17
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	2,232,800	4.58
KBL EPB S.A. 107704	2,060,900	4.23
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,452,500	2.98
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	743,001	1.52
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	722,900	1.48
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	639,500	1.31
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	530,600	1.09
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口5)	530,500	1.09

※1 小数点第3位を四捨五入して表示しています。
持株比率は、自己株式(144株)を控除して計算しております。
持株比率の計算上、株式給付信託(J-ESOP)の信託口として、
みずほ信託銀行株式会社が所有している当社株式56,500株を含めて計算しております。

■所有者別株主分布状況(株式数ベース)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
上記の基準日 3月31日
公告掲載方法 電子公告(当社ホームページ)

ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先 【ご照会専用ダイヤル】
☎ 0120-288-324

会社概要

社名 サンフロンティア不動産株式会社(証券コード:8934)
本社 〒100-0006
東京都千代田区有楽町一丁目2番2号東宝日比谷ビル
TEL.03-5521-1301(代) <https://www.sunfrt.co.jp>
営業所 銀座店、日本橋店、小伝馬町店、神田店、麹町店、赤坂店、
新宿店、渋谷店、五反田店、横浜店
資本金 11,965百万円
従業員数 522名(連結)
役員 代表取締役社長 堀口 智顕 監査役(社外) 田中 英隆
(2019年6月21日現在) 代表取締役副社長 齋藤 清一 副社長執行役員 齋藤 清一^{※2}
専務取締役 中村 泉 専務執行役員 中村 泉^{※2}
常務取締役 山田 康志 常務執行役員 山田 康志^{※2}
取締役(社外) 高原 利雄 執行役員 本田 賢二
取締役(社外) 久保 幸年 執行役員 二宮 光広
取締役(社外) 大久保 和孝 執行役員 小田 修平
常勤監査役 品田 耕一 執行役員 若尾 健二
監査役(社外) 守屋 宏一 ^{※2} 取締役との兼務を示しています。

主な連結子会社 サンフロンティアホテルマネジメント株式会社
サンフロンティアスペースマネジメント株式会社^{※3}
スカイハートホテル株式会社
サンフロンティア佐渡株式会社
サンフロンティアコミュニティアレンジメント株式会社
SFビルサポート株式会社
SFビルメンテナンス株式会社
東京陽光不動産股份有限公司
SUN FRONTIER VIETNAM CO., LTD.
PT.SUN FRONTIER INDONESIA

※3 2019年4月1日設立